

大特集

イチバン手軽で清潔に冬

の部屋をうるおせるのはどれ?

# 加湿器 No.1 決定戦

8畳以上用  
&  
5畳以下用



- 象印マホービン
- 三菱重工
- 東芝
- アイリスオーヤマ
- 山善
- Panasonic
- バルミューダ
- KOIZUMI
- SHARP

- ダイソン
- cado
- TaoTronics
- スリーアップ
- CORONA
- maxzen
- APIX
- ダイニチ

2020 WINTER

乾燥対策にはもってこいのモノといえば加湿器。だがタイプが色々あって、どれを買うか迷う人も多いはず。その悩みに応えるため代表機種全20台の加湿性能、清潔性などを徹底検証。最強の1台を決めた!

取材・執筆：編集部 モデル：葉月祥子（スペースクラフト） 撮影：小西範和

我慢せずに  
加湿器で  
解決!!

乾燥する  
季節の  
悩みは...

色々タイプがあるけれど……

# うのか分からない!

「加熱式」「気化式」「超音波式」「ハイブリッド式」

# どれが一番「潤」

たくさんありすぎて

そこで

## 4タイプ×2サイズの計20台

## を5つの項目からガチ検証! //

本題に入る前に 医師に聞いた 加湿器のQ&A



何をかうのが正解なの?



# 最強の1台を決めました!!

# 「清潔」で「楽」で加湿も◎な



全20台を

### 5つの項目で徹底検証!

- 5 静音性**  
寝るときに加湿器を使いたい人も多いと思うが、その際に重要なのは「静かさ」。そこで全製品の稼働音を測定し、もっとも静かな製品を選出!  
P137へ
- 4 電気代の安さ**  
清潔で加湿もできるのは分かったけど、電気代が……という人のために、実際に使用した際の1時間の電気代を算出。懐に優しいのはどれ?  
P136へ
- 3 使い勝手**  
日常使いするのに、面倒なのはイヤ! ということで水の補給のしやすさをメインに、タイマー設定や手入れのしやすさなどを徹底比較!  
P134へ
- 2 加湿性能**  
「加湿」器なのに、これがピミョーなら意味はない。全製品の加湿力を同一条件下で測定し、もっともムラなく部屋をうるおせる一台を決定!  
P130へ
- 1 清潔性**  
菌が漂ったミストで部屋がしょっとりなんて、もってのほか! 実際に製品を使用し、菌の発生具合をチェック。もっとも清潔だったのは「あの」タイプ!  
P128へ

今回検証するのはリビングに置き、日中の乾燥を潤すのに最適な8畳以上対応の製品を12台と、寝室に置き睡眠中の無防備なノドと肌を守るのに最適な5畳以下対応の製品を8台の全20台で、各々からベストバイを選出する(量数は木造和室の場合)。

加湿器を未購入の人はもちろんのこと、今まさに使っている人も遅くはない。本特集を参考に、乾燥に悩む毎日にもうサヨナラをすることにしよう!

寒い時期にもっとも人を悩ませるものといえばズバリ乾燥。肌がガサガサになったり、ノドが痛くなったりで大変な思いをしている人も少なくないはず。そんな悩みを解決できるのが「加湿器」。今まさに本特集を読みながら使っている人もいるかもしれない。だけどその加湿器、本当に大丈夫? 加湿はもろろん、清潔さは大丈夫?

加湿器を選ぶ際、あまり気に留めることは少ないが、もっとも重要視すべきは細菌などの発生しづらさ、つまり清潔さ。いくら加湿されるといっても、そのミストが菌まみれだとしたら、衛生的にも精神的にも嫌なはず。そこで今回は「もっとも細菌が発生しない」加湿方式を検証で決定。その上で部屋中をしっかりと潤すことなく、手間をかけずに加湿できる一台を決めることにした。

冬の乾燥を忘れさせる一台ははたしてどれ?

こまめな手入れも必要不可欠です

五本赤羽クリニック院長 森満おさむ先生

専門は一般診療・泌尿器科。「日本一の町医者」を目指し診療・研究に務める。最新刊『意識高い系』がハマる「ニセ医学」が危ない! が好評発売中

### 8畳以上に対応

**温度と湿度のWセンサー搭載**  
東芝 KA-X60  
実勢価格▶1万464円  
SPEC サイズ: W26.4 × D25.7 × H30.2cm 重量: 約3.5kg (コードセットを含む) タンク容量: 約4リットル

**大きなデジタル表示が特徴**  
三菱重工 roomist SHE60SD  
実勢価格▶1万1752円  
SPEC サイズ: W22.1 × D29.7 × H30.8cm 重量: 4kg タンク容量: 4リットル

**広口でシンプルな構造**  
象印マホービン EE-DA50  
実勢価格▶1万6800円  
SPEC サイズ: W24 × D27.5 × H36.5cm 重量: 2.8kg タンク容量: 4リットル

### 5畳以下に対応

**20製品中 最小サイズ**  
山善 KS1-A084  
実勢価格▶2980円  
SPEC サイズ: W12 × D21.5 × H20cm 重量: 約0.9kg タンク容量: 0.8リットル

**ボタン一つで加湿ができる**  
アイリスオーヤマ KSHM-260RA  
実勢価格▶3980円  
SPEC サイズ: W15 × D24.5 × H28cm 重量: 1.2kg タンク容量: 2.4リットル

ヒーターで水を加熱し蒸発させ、その湯気によって湿度を上げる方式。煮沸するので菌が湧きつらく加湿力が高いとされる一方、電気ポットと同じく電気代が高め。また沸騰するまで、加湿が始まらない特徴がある

湯気で潤す

加熱式

**デザイン**  
Pure Humidify +Cool  
実勢価格▶8万8000円  
SPEC サイズ: W31.2 × D31.2 × H92.3cm 重量: 8.3kg タンク容量: 5リットル

**リングを回して操作&調節**  
パルミューダ Rain  
ERN-1100UA-WK  
実勢価格▶5万6000円  
SPEC サイズ: 直径35 × H37.4cm 重量: 5.7kg タンク容量: 4.2リットル

**ナノイー搭載で清潔に使える**  
Panasonic FE-KXS07  
実勢価格▶2万2260円  
SPEC サイズ: W37.5 × D18.6 × H37.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4.2リットル

**電気代あめなDCモーター搭載**  
SHARP HV-J30  
実勢価格▶1万730円  
SPEC サイズ: W32.2 × D15.9 × H31.6cm 重量: 2.8kg タンク容量: 2.4リットル

**静音性と加湿力を両立**  
Panasonic FE-KFS03  
実勢価格▶1万3720円  
SPEC サイズ: W29.5 × D30.5 × H19cm 重量: 3.1kg タンク容量: 2.1リットル

本体内部のフィルターに水を染み込ませ、そこに気流を当てることによって加湿を行う。ミストが見えず、電気代を安く抑えられるのが利点。反面、加湿性能が控えめで、フィルターを定期的に交換する必要があります

気流をあて潤す

気化式

**20製品中 タンク容量最大**  
KOIZUMI KHM-5592  
実勢価格▶1万5400円  
SPEC サイズ: W28 × D26.5 × H49.2cm 重量: 5.3kg タンク容量: 6.5リットル

**同スペック製品より価格安め**  
TaoTronics TT-AH025  
実勢価格▶5999円  
SPEC サイズ: W26 × D17.8 × H41.5cm 重量: 約1.8kg タンク容量: 6リットル

**高さのあるデザインが◎**  
cado STEM630i  
実勢価格▶4万9800円  
SPEC サイズ: 直径27 × 高さ85.5cm 重量: 4.3kg タンク容量: 2.3リットル

**タッチセンサー&LED搭載**  
アイリスオーヤマ KUHM-280B  
実勢価格▶4980円  
SPEC サイズ: W17.5 × D17.5 × H35.3cm 重量: 1.3kg タンク容量: 3リットル

**丸いフォルムが目をひく**  
スリーアップ HF-T1952WH  
実勢価格▶5585円  
SPEC サイズ: 直径20.1 × 高さ22.7cm 重量: 1.1kg タンク容量: 2リットル

超音波の振動によって水を霧状にして、空気中に放出して加湿する。ヒーターレスで消費電力が少なく、白いモヤのようなミストが出る製品が多い。ただミスト発生部分に細菌が発生しやすいとされている

振動で潤す

超音波式

**リモコンで操作可能**  
maxzen KSH-MX601  
実勢価格▶7980円  
SPEC サイズ: W27.2 × D22 × H29.9cm 重量: 2.2kg タンク容量: 6リットル (加熱超音波式)

**回転するフィルターが特徴**  
CORONA UF-H5019R  
実勢価格▶1万1078円  
SPEC サイズ: W35.5 × D36.2 × H16.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4リットル (加熱気化式)

**プラズマクラスター搭載モデル**  
SHARP HV-J75  
実勢価格▶1万7318円  
SPEC サイズ: W27.2 × D22 × H45.5cm 重量: 5.2kg タンク容量: 4リットル (加熱気化式)

**静音性に自信あり**  
ダイニチ HD-3019  
実勢価格▶1万3480円  
SPEC サイズ: W32.2 × D16.5 × H32.5cm 重量: 3.4kg タンク容量: 2.4リットル (加熱気化式)

**フタを外してすぐ給水できる**  
APIX AHD-160  
実勢価格▶8720円  
SPEC サイズ: W30 × D19 × H23cm 重量: 1.9kg タンク容量: 3.5リットル (加熱超音波式)

加熱気化式(フィルターに温風を当て、加熱超音波式(加熱した水を振動で放出する)の2つが存在。細菌が発生しやすい超音波式や気化式の弱点を加熱で解決できる方式として、最近製品数が増加中

組み合わせで潤す

ハイブリッド式

- Q1 加湿する最大のメリットは?**  
A. 肌を保湿できること!  
乾燥すると肌が本来持っているバリアのような機能が損なわれ、肌荒れなどが起きます。それを防ぐためにも加湿は重要です。
- Q2 風邪が防げるって本当?**  
A. そうい話も一応アリ!  
加湿によって有害なバイ菌の侵入を防ぐノドの細胞の活性が上がり、結果風邪にかかりづらくなるという話は一応ありますね。
- Q3 どの加湿方式がいい?**  
A. 加熱式がオススメ!  
煮沸により殺菌され、清潔さが保たれることとなる加熱式がいいのではないのでしょうか。私も加熱式を自宅で使用しています。
- Q4 効果的な使い方は?**  
A. 就寝時に使いましょう!  
自発的に水分補給ができずノドが乾いてしまいがちな寝ている間に使うのがいいかもしれません。
- Q5 ミストの勢いは重要?**  
A. 勢いより湿度の一定さが重要!  
勢いというよりミストによって湿度が一定なのが重要でしょう。具体的には60%あたりに保たれるのが望ましいです。
- Q6 タンク内に菌が増えたらどうなる?**  
A. 菌がばらまかれるかも!  
タンクや本体内で細菌が増えると、当然噴出されるミストにも菌が含まれてしまい、結果的にばらまかれる可能性はあります。



清潔度を  
タンク内に検証!

1週間使い続けたにもかかわらず菌が

タンク内も  
蒸気も

# 清潔さは加熱

少しも発生することがなかった

# 式がダントツ!

Part I  
清潔度

こっちも  
検証!



プラ臭のする  
製品が多  
めでした  
臭気判定士  
石川英一先生

臭いってどうなの?

加熱式 製品由来の臭いが  
少しすかも

象印マホービン  
臭い指数  
1.5  
EE-DA50  
実勢価格▶1万6800円

加熱の影響なのか製品由来のプラスチックのような臭いを感じられる製品があったが、特に問題になるようなものではない

気化式 フィルター部分が  
臭う場合アリ

KOIZUMI  
臭い指数  
2.5  
KHM-5592  
実勢価格▶1万5400円

KOIZUMI などホコリっぽい臭いがするものもあったが、数値は全体的に低め。ただフィルター掃除を怠ると、臭いが発生する恐れがある

超音波式 臭いが気になる  
製品が多め

cado  
臭い指数  
3.0  
STEM630i  
実勢価格▶4万9800円

5製品とも臭い指数2.0~3.0をマーク。特にcadoは薬っぽい臭いがあった。ミストに勢いがあるので、部屋中に拡散してしまうかも

ハイブリッド式 加熱のせいで  
臭いが出やすい

ダイニチ  
臭い指数  
3.5  
HD-3019  
実勢価格▶1万3480円

加熱式と同じで熱により製品由来のプラスチック臭が漂うが、数値はCORONAを除きいずれも3.0以上と加熱式より高くなった

## 検証方法

臭気判定士が嗅いで判定



イヤな臭いが  
漂わないかチェック!

全製品を1週間稼働させた後、ミストを臭気判定士の石川先生に嗅いでもらい臭い指数(1~5、数値が高いほど臭いが強い)を出していただいた。

超音波式

1週間でこんなに発生するなんて!

|                  |          |            |              |
|------------------|----------|------------|--------------|
| ミスト内にも<br>細菌が!   | 蒸気<br>細菌 | タンク内<br>細菌 | 細菌が<br>大発生!! |
| これで加湿<br>されるのは…… | 蒸気<br>真菌 | タンク内<br>真菌 | 真菌は<br>いなご…… |

こんなに  
も違った!

一般的に菌が発生しやすいとされる超音波式の加湿器。残念ながら検証の結果、それが改めて示されることに。使用する際は徹底的な手入れを日課にした方がいい

代表製品  
APIX  
AHD-160  
実勢価格▶8720円

超音波式に次いで菌が多い

|                       |          |            |              |
|-----------------------|----------|------------|--------------|
| 残念ながら<br>大発生          | 蒸気<br>細菌 | タンク内<br>細菌 | わずかに<br>菌が   |
| 加熱温度が<br>低いので<br>菌が発生 | 蒸気<br>真菌 | タンク内<br>真菌 | 真菌は<br>見当たらず |

今回使用したのは加熱超音波式のタイプ。加熱で殺菌されるものと思いきや、大量発生。どうやら温度が加熱式と比べて低かったのが原因のようだ

このミストは  
遠慮したい……

もっとも清潔なのは  
加熱式で間違いなし!

菌が加湿器内で増えるところがミストとともに拡散され、病気が広がる可能性がある。そのため、清潔さはとっても重要。一般的に「加熱式は発生しづらい」「超音波式は発生しやすい」とされるが、その真偽も含め検証を行うと、なんとその通りの結果に! 加熱で菌の発生を抑えられるのは間違いなく言えるだろう。ただ同じく加熱されるハイブリッド式は温度が低いうえ、今回検証に使用した製品が加熱超音波式だったためか、菌が発生。もっともSHARPのHVJ75のような加熱+気化タイプの場合は、気化式と同じく菌も少なくなるかもしれない。また気化式についても、またysonのように製品に紫外線による菌を抑える機能が搭載されているものもあるので、あくまで傾向程度にとめておこう。

※菌の画像は採取した水を一定条件下で培養させた結果のもので

で1週間使ってみた結果 //

加湿方式が違つと

細菌も真菌も存在なし!

|              |          |            |                |
|--------------|----------|------------|----------------|
| ミストも<br>問題なし | 蒸気<br>細菌 | タンク内<br>細菌 | 細菌は<br>見当たらず!  |
| 安心して<br>使えそう | 蒸気<br>真菌 | タンク内<br>真菌 | 真菌も<br>見当たらない! |

加熱式

代表製品  
山善  
KS1-A084  
実勢価格▶2980円



加熱式は  
菌が発生  
しづらい

やはり煮沸されるからか、1週間使用しても菌の発生がなかった加熱式が一番清潔に使えと言えらるだろう。もっとも「絶対」はないので、マメな手入れは怠らないようにしておきたい

わずかに菌が発生した

|                |          |            |              |
|----------------|----------|------------|--------------|
| ミストには<br>細菌が!  | 蒸気<br>細菌 | タンク内<br>細菌 | タンク内は<br>清潔  |
| 真菌も発生<br>していた! | 蒸気<br>真菌 | タンク内<br>真菌 | こちらも<br>問題なし |

気化式

代表製品  
Panasonic  
FE-KFS03  
実勢価格▶1万3720円



たった1週間でも  
ここまで菌の発生  
に違いが出たこと  
に驚きました!

やはり加熱式が  
菌を抑えるなら  
一番と言えます

たった1週間でも  
ここまで菌の発生  
に違いが出たこと  
に驚きました!

編集部  
海田  
LAB.360 室長  
松下和夫

検証で  
わかった

清潔性(細菌の発生の程度)の違い!

| 加熱式  | 気化式  | 超音波式  | ハイブリッド式   |
|--|--|---|---|
| 高温で煮沸されるため菌が発生しづらい。構造上、密閉できるタイプのタンクである製品が多く、そもそも菌の入りこみも少ない | フィルターを濡れたまま放置しておく菌が発生し、それがミストに混ざる恐れがある。こまめな手入れが必要と言えるだろう | 超音波を発生させるためのパーツに菌が発生する。またタンクが本体と一体型の製品の場合だと、タンクにも菌が発生する | 加熱により菌が死滅すると思いきや温度が加熱式と比べ控えめなためか、加熱超音波式だと菌が発生してしまうことに |

検証方法

タンク内&蒸気に含まれる菌を調査!



加湿方式で  
菌の数は大違い!

この検証ではまず加湿方式別に1台ずつ製品を選び、同じ条件の部屋で1週間連続で稼働させた。その後タンク内の水とミストを採取し、それを専門機関に持ち込み菌(細菌と真菌)を培養させ、発生したの数を測定した。



部屋の乾燥しはこれでおさらば！

加熱式だけど立ち上がりが早く場所に

# 東芝なら乾燥した部

よってもムラがほとんどなし！

# 部屋の隅まで潤せた！

Part 2  
加湿性能  
[8畳以上編]

場所によるムラがない東芝！

| ブランド/製品名/価格   | 湿度① | 湿度② | 湿度③ | 湿度④ | 加湿性能(1時間) | 評価/総評   |
|---|-----|-----|-----|-----|-----------|---|
| 加湿前の湿度  | 28% | 28% | 27% | 28% | なし        | 加湿前の湿度。ここからの数値の上昇を計測した                        |
| 東芝 KA-X60<br>実勢価格▶1万464円<br>タンク容量:約4リットル            | 67% | 68% | 66% | 66% | 587ml     | <b>S</b> 元の加湿力に合わせ、優れた加湿器の条件とも言えるムラのなさが際立っていた |
| 三菱重工 roomist SHE60SD<br>実勢価格▶1万1752円<br>タンク容量:4リットル | 61% | 71% | 72% | 65% | 533ml     | <b>A</b> 東芝ほどの均一さはないが、そもそもの加湿力自体は高めだった        |
| 象印マホービン EE-DA50<br>実勢価格▶1万6800円<br>タンク容量:4リットル      | 48% | 63% | 63% | 55% | 387ml     | <b>B</b> ムラが気になった。使用の際は設置場所をよく考えよう            |

すぐに部屋をうるおすならSHARP

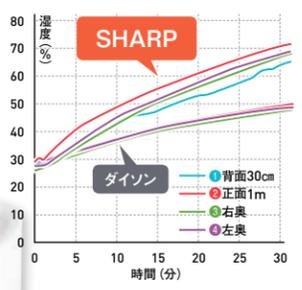
加湿が始まるまで待ち時間なし！

SHARP HV-J75  
実勢価格▶1万7318円

SPEC サイズ:W27.2×D22.0×H45.5cm 重量:5.2kg タンク容量:4リットル

ハイブリッド式

加湿式は時間がかかると、そんな人にはオススメ。加湿式と異なり移動後すぐに加湿が始まるのが大きな特徴。場所によるムラが少々あるが、元々の加湿力が高いので十分に部屋を潤せる。本体の高さがあるのが、人によっては気になるかも。



東芝 KA-X60  
実勢価格▶1万464円

SPEC サイズ:W26.4×D25.7×H30.2cm 重量:約3.5kg(コードセットを含む) タンク容量:約4リットル

加熱式

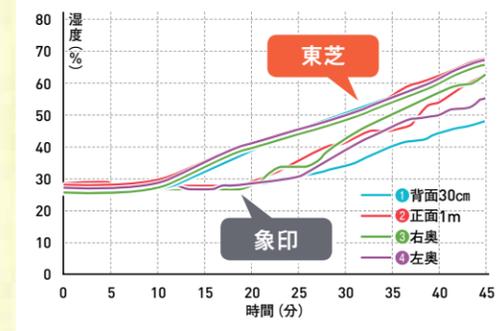
加湿性能 8畳以上編 **S**

あますことなく加湿するならこれ！

本体内部にファンを搭載しているため、製品から離れた場所でもしっとりさせることができました！ また加湿が始まるまで時間がかかる加熱式の製品の中では立ち上がり早いのも、優秀なポイントだ。



部屋中が均一に加湿された！



加湿力はもちろん取り回しやすさも◎

加熱式の製品は蒸気で本体が熱くなりがちなのが難点だが、本製品は取手があるので、安全に持ち運びができる

乾燥には負けないコンタクト式

持ち手がある取り回し◎

加熱式の代表である象印と比べて一回り小さいサイズだが、性能はバツグン。アロマポットも装着可

SHARPが高レベルで安定！

| ブランド/製品名/価格   | 湿度① | 湿度② | 湿度③ | 湿度④ | 加湿性能(1時間) | 評価/総評                                   |
|---|-----|-----|-----|-----|-----------|---|
| SHARP HV-J75<br>実勢価格▶1万7318円<br>タンク容量:4リットル               | 64% | 71% | 66% | 68% | 640ml     | <b>A+</b> 安定の高さを発揮。稼働後すぐに加湿が始まるのが良い     |
| cado STEM630i<br>実勢価格▶4万9800円<br>タンク容量:2.3リットル            | 91% | 73% | 71% | 75% | 440ml     | <b>A+</b> 90%超えの圧倒的加湿力。ムラの大きさが唯一気になるところ |
| Panasonic FE-KXS07<br>実勢価格▶2万2260円<br>タンク容量:4.2リットル       | 62% | 62% | 59% | 60% | 480ml     | <b>A</b> SHARPと同じで比較的均一に60%近くまで加湿できた    |
| KOIZUMI KHM-5592<br>実勢価格▶1万540円<br>タンク容量:6.5リットル          | 61% | 59% | 57% | 57% | 460ml     | <b>B</b> ムラは少なめ。上位陣ほどではないが、湿度は十分上げられる   |
| パルミーダ Rain GRN-1100UA WK<br>実勢価格▶5万6000円<br>タンク容量:4.2リットル | 57% | 57% | 56% | 56% | 380ml     | <b>B</b> 均一さにおいてはSHARP以上。若干上がり方が緩やかだった  |
| TaoTronics TT-AH025<br>実勢価格▶5999円<br>タンク容量:6リットル          | 67% | 48% | 56% | 53% | 300ml     | <b>B</b> 場所によっては十分にうるおせたが、上位陣と比べムラあり    |
| CORONA UF-H5019R<br>実勢価格▶1万1078円<br>タンク容量:4リットル           | 53% | 55% | 51% | 50% | 400ml     | <b>B</b> 均一に加湿できる。他上がり方は全製品中でもかなりゆっくり   |
| maxzen KSH-MX601<br>実勢価格▶7980円<br>タンク容量:6リットル             | 57% | 51% | 48% | 55% | 340ml     | <b>B</b> ムラはあるがタンクが大きいので、水の補充が少なくてすむ    |
| ダイソン Pure Humidity+Cool<br>実勢価格▶8万8000円<br>タンク容量:5リットル    | 48% | 49% | 48% | 49% | 360ml     | <b>B</b> 均一さは優秀。他製品と比べ湿度の上がり方が物足りなかった   |

乾燥した部屋は東芝で徹底的にうるおそう！

加湿器の要は、やはりどれだけ湿度を上げられるか。いくら清潔でも、うるおせないなら使いたくないのが本音のほう。そしてどうせなら部屋のどこに置いて、十分に室内を加湿できる「加湿ムラのない」製品であれば、なおうれしいところ。

では部屋中をムラなく均一に加湿できる製品は一体どれ？ それを決めるべく検証を行った結果、清潔性の検証で菌が湧きにくいと判明した加熱式の東芝がベストに輝いた！ 特筆するべきは、加湿ムラのなさ。元々の加湿力の高さに加え、ファンを内

蔵しているのが部屋中に蒸気が行き渡り、冬の乾燥を解決できる。加熱式特有の加湿開始までの時間が、同方式の製品中では短いのも特徴だ。

次いで優秀さが際立ったのはSHARP。東芝にはあと二歩及ばずだがムラが少なく、なによりスイッチを入れればすぐ加湿が始まるので、待つのが面倒という人にはこちらがオススメ。

両者ともミストが見えないタイプなので「見「ほんとうに加湿されている？」と不安になるが、その性能の高さは折り紙付き。加湿器の購入を考えている人はもちろん、今使っているものでイマイチ効果が実感できないという人も使ってみよう！

湿度が上がり始めるまでの時間

| 遅                                    | 時間    | 早 |
|--------------------------------------|-------|---|
| 象印マホービン EE-DA50<br>実勢価格▶1万6800円      | 19分   |   |
| 三菱重工 roomist SHE60SD<br>実勢価格▶1万1752円 | 9分    |   |
| 東芝 KA-X60<br>実勢価格▶1万464円             | 7分30秒 |   |

製品

時間

評価

**B** 他製品よりもかなり時間がかかる結果に。ムラも比較的大きかった

**A** 東芝より少し時間がかかった。加湿は場所によって若干のムラあり

**S** 3製品中ではもっとも早く湿度が上がり始め、その後の上昇も一定

検証でわかった 方式による湿度上昇の違い

|         |  |
|---------|--|
| 加熱式     | 水を沸かす必要があるため湿度が上がり始めるまで時間が必要。急な加湿には向かない  |
| 気化式     | 稼働後すぐに湿度が上がり始め、ムラも少ない。60%あたりで上がり方が緩やかになる |
| 超音波式    | 急激に湿度が上がるが場所ムラが大きく、製品によっては10%近く差が出たものも   |
| ハイブリッド式 | 気化式と同じ傾向だが、製品によってはムラがあったり加湿が始まるまで時間がかかった |

検証方法

4箇所の湿度の上がり方をセンサーで計測

温度と湿度を一定に保てる部屋(恒温室)の4箇所(①~④)、1メートルの高さにセンサーを設置。各製品を最大モードで30分間(加熱式は沸騰までの時間を考慮し45分)稼働させ湿度変化と加湿性能(一定時間で放出する水の量)を測定。

場所による差も調べました

※表の湿度は各製品を最大モードで稼働させ30分後(加熱式は45分後)に記録した数値です



乾燥を忘れて  
安眠できるのは?

一般的には加湿性能が

# 気化式の製品が

イマイチとされるはずの

まさかの

# No.1だった!

Part 2

## 加湿性能

[5畳以下編]

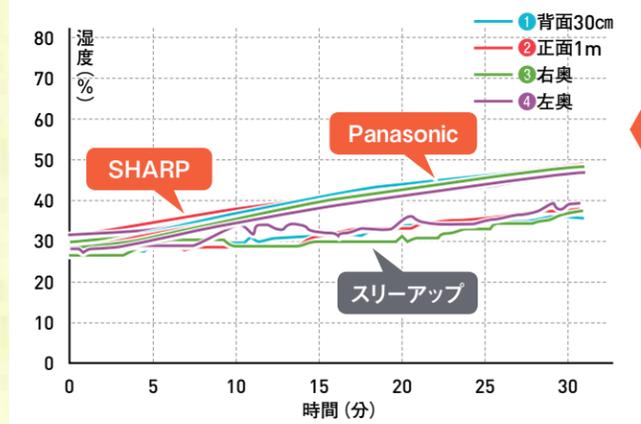
### 加熱式は アイリスに軍配が上がった!

| ブランド/製品名/価格  | 湿度① | 湿度② | 湿度③ | 湿度④ | 加湿性能(時間) | 評価/総評                          |
|--|-----|-----|-----|-----|----------|--------------------------------|
| 加湿前の湿度   | 28% | 28% | 27% | 28% | なし       | 加湿前の湿度。8畳以上と同じ条件で測定            |
| アイリスオーヤマ KSHM-260RA<br>実勢価格▶3980円<br>タンク容量:2.4リットル | 45% | 44% | 45% | 42% | 240ml    | A 同方式の8畳以上用製品と比べ、ムラが少なく安定していた  |
| 山善 KS1-A084<br>実勢価格▶2980円<br>タンク容量:0.8リットル         | 41% | 41% | 42% | 41% | 173ml    | B 全製品中で最小サイズ&タンク容量だがムラがなく十分な性能 |

### 気化式 超音波式 ハイブリッド式は トップ2製品の安定感が際立つ!

| ブランド/製品名/価格   | 湿度① | 湿度② | 湿度③ | 湿度④ | 加湿性能(時間) | 評価/総評   |
|---|-----|-----|-----|-----|----------|---|
| SHARP HV-J30<br>実勢価格▶1万730円<br>タンク容量:2.4リットル        | 47% | 48% | 46% | 46% | 290ml    | S 8畳以上用でも優秀な成績を残したSHARPがトップに。稼働時間が長いのも寝室使用では助かる |
| Panasonic FE-KFS03<br>実勢価格▶1万3720円<br>タンク容量:2.1リットル | 48% | 48% | 48% | 46% | 300ml    | S SHARPとサイズ感も加湿力もほぼ同等だった。タンク容量はこちらの方が少し小さめ      |
| ダイニチ HD-3019<br>実勢価格▶1万3480円<br>タンク容量:2.4リットル       | 48% | 47% | 43% | 44% | 260ml    | A 上の2製品と比べ多少のムラはあるが、高い加湿力を発揮                    |
| APIX AHD-160<br>実勢価格▶8720円<br>タンク容量:3.5リットル         | 60% | 38% | 45% | 42% | 260ml    | B 本体近くだと大型機種並みの加湿力。場所ムラが気になる                    |
| アイリスオーヤマ KUHM-280B<br>実勢価格▶4980円<br>タンク容量:3リットル     | 52% | 37% | 42% | 34% | 200ml    | B こちらもばらつきあり。加湿が始まるまでが早いのは利点                    |
| スリーアップ HF-T1952WH<br>実勢価格▶5585円<br>タンク容量:2リットル      | 36% | 37% | 37% | 39% | 240ml    | C ミストの勢いの割に加湿力に欠ける。本体のデザインは◎                    |

### ワーストとは最終的な湿度に10%の差が!



やはり「ムラのなさ」に大きな差が出た!  
加湿性能ベストとワーストを比べると単純な湿度の上がり方はもちろん、均一さの違いが目瞭然。寝るにつければ翌朝目が覚めた際に「乾燥で喉が痛い……」というような経験もなくなるはずだ。

水がすぐなくなるけれど  
すきま時間に使うならアリ!



**山善 KS1-A084**  
実勢価格▶2980円  
SPEC サイズ:W12xD21.5×H20cm 重量:約0.9kg タンク容量:0.8リットル  
テーブルやデスクサイドで使うのがオススメ  
タンク容量が小さいため水切れが早く補充の手間がかかるのが悩ましいが、コンパクトなので場所を選ばず設置できるのが利点。食事時のテーブルに置いて使うなら十分な性能だ。

**SHARP HV-J30**  
実勢価格▶1万730円  
SPEC サイズ:W32.2×D15.9×H31.6cm 重量:2.8kg タンク容量:2.4リットル

睡眠中の加湿はおまかせ!

寝室のどこにおいてもちゃんと加湿できる  
何よりも場所によるムラのなさが優秀! 枕元に置いても、足元に置いても十分に部屋中をうるおせるはず。ミストが見えないので、就寝中でも煩わしさが無いのが良い。

**Panasonic FE-KFS03**  
実勢価格▶1万3720円  
SPEC サイズ:W29.5×D30.5×H19cm 重量:3.1kg タンク容量:2.1リットル

SHARPと互角の優秀な性能でした!  
SHARPよりわずかに消費される水の量が多いが(1時間あたり10ml)、ムラのなさも湿度の上がり方もほぼ同じ。「うるおす」という点では、どちらを選んでも間違い無い。

水切れの可能性

| 製品                  | 水切れの時間 | 評価 |
|---------------------|--------|----|
| 山善 KS1-A084         | 3時間45分 | B  |
| APIX AHD-160        | 5時間47分 | B  |
| スリーアップ HF-T1952WH   | 6時間27分 | A  |
| アイリスオーヤマ KUHM-280B  | 6時間33分 | A  |
| アイリスオーヤマ KSHM-260RA | 6時間52分 | A  |
| ダイニチ HD-3019        | 7時間11分 | S  |
| Panasonic FE-KFS03  | 7時間42分 | S  |
| SHARP HV-J30        | 7時間51分 | S  |

ほぼ互角な性能の2製品がベストに!  
8畳以上対応の製品の次は、5畳以下対応の製品をチェック。大型機種ほどの加湿力はないが、小型なのでどこでも使える。特にこの時期は就寝時の乾燥対策として寝室やベッドサイドで使うのがオススメだ。  
全8製品の加湿性能を検証した結果、なんと一般的には他方式と比べ加湿力がイマイチとされる気化式のSHARPとPanasonicの2製品がトップに! 単純な湿度の上がり方では湿度60%を記録したAPIXなどのこれより優れた製品もあったが、やはり場所によるムラがほぼなかったことが、ベストの理由だ。また満水時の稼働時間が他製品と比べ長く、水の補充などまずできるはずがない就寝中でも、水切れの心配がないことが何よりもありがたかった。就寝時のノドや肌を、しっかりとうるおしてくれるはずだ。  
ちなみに今回検証した製品の中には、スリーアップなどのようにミストが派手に噴き出し、いかにも「加湿力◎」というようなモノもあったが、ムラがあったりそもそも加湿性能が低かったり、ベスト2製品ほどの安定性には欠ける結果に。「なんか期待と違う……」ということにならないように、加湿器を買う際は、一見の印象で選ぶことは避けよう!

残念... 一見ミストの勢いはいいけれど  
肝心の加湿性能はビミョーでした

ミストの勢いがいいからといって加湿性能が◎ではないんです!  
全製品中トップクラスのミストの勢いを見せたスリーアップ。当然加湿性能もダントツ……との期待もむなしく、どの場所でも湿度40%超えを果たせない残念な結果に。加湿器選びの際には「ミストの勢い=加湿性能の高さ」ではないことを頭においておいた方がよさそう。

※表の湿度は各製品を最大モードで稼働させ30分後(加熱式は45分後)に記録した数値です



サイズ感が気になるけど 水の補充のしやすさも

# バルミューダが 何かにつけて

タイマーの細かさも◎な

# 便利でした!

Part 3  
使い勝手

タイマー編

24時間まで  
バルミューダなら1時間ごとに設定可能!

細かく設定可

タイマー設定

細かく設定不可



バルミューダ  
Rain ERN-1100UA-WK  
実勢価格▶5万600円  
代表製品  
maxzen KSH-MX601(OFFのみ)

なんと1時間ごと、最大で24時間まで設定できる

タイマー設定の細かさでもバルミューダがベスト。本体上部のリング自体が操作部となっており、ここを押してタイマー画面に移動、回すことで1時間づつ最大で24時間までON/OFFの設定が可能。またWi-Fi対応なので、スマホでアプリを使えば外出先からも操作できる。



ダイソン  
Pure Humidify +Cool  
実勢価格▶8万8000円  
代表製品  
Panasonic FE-KFS03  
ダイニチ HD-3019など10製品

日常使いには 問題ナシの細かさ

設定が3~6段階のもの。ダイソンだと30分、1・2・4・6・8時間まで設定可(OFFのみ)。普段使いには文句なしの細かさだ。



TaoTronics  
TT-AH025  
実勢価格▶5999円  
代表製品  
山善 KS1-A084  
SHARP HV-J30など8製品

もっと細かい方が使いやすい

設定可能時間が2段階以下&ナシのもので、小型や低価格帯の製品に多い。毎日使うからこそ、その度にスイッチを入れたり切ったりするのはやはり手間を感じてしまう。

手入れ編

口が広い製品の方が掃除は手軽!

口が広い製品→すぐ洗える



APIX  
AHD-160  
実勢価格▶8720円  
代表製品 スリーアップ HF-T1952WH  
象印マホービン EE-DA50 など  
隅々まで洗いやすい  
広口タイプのもは手が入りやすく構造がシンプルな場合が多いので、長く使うと溜まりがちな水道水のカルキ汚れも取りやすい。

タンク内蔵型→外す手間があり



ダイニチ  
HD-3019  
実勢価格▶1万3480円  
代表製品 東芝 KA-X60  
Panasonic FE-KXS07 など  
細部が洗づらい  
タンクのはめこみ部など、凹凸が多いため、細部まで手が届かないことが。スポンジのほか、細かいブラシなども用意する必要あり。

独特の見た目&操作 だけどすぐ便利!  
清潔に加湿できても、使い勝手が悪かったら日常使いの製品としては厳しいところ。特に水の補充など、毎日行う必要があるものについては、すこしでも楽をしたいものだ。  
今回、全製品を使用したところ、バルミューダの使い勝手の良さが光った。水の補充はフタも外さず上から注ぐだけ。タイマーも1時間ごとに最大で24時間まで

で設定可能と、細かいところまで配慮された作りとなっている。本体上部のリングによる操作もはじめこそ戸惑うが、慣れれば直感的に操作できて快適。少々大きめのサイズ感が気にならないなら、バツグンの使い勝手の良さを感じられるだろう。  
また手入れについては手が細かいところまで届くという点で、広口の製品が楽。長期間使用すると溜まりがちな水道水のカルキ汚れも取りやすく、清潔さを保ちやすい。

手間いらずなのは「上から注ぐ」タイプ! 水の補充編

フタを外して補充するタイプ



象印マホービン  
EE-DA50  
実勢価格▶1万6800円  
水の補充しやすさ A  
代表製品  
スリーアップ HF-T1952WH  
APIX AHD-160 など5製品

タンクを出す手間いらず!

フタを開け、あとは水をジャーっと入れるだけで給水完了。本体をあれこれ触る必要がないので快適だ。5畳以下用の小型製品に多い。

外付けタンクタイプ



山善  
KS1-A084  
実勢価格▶2980円  
水の補充しやすさ B  
代表製品  
アイリスオーヤマ KSHM-260RA  
SHARP HV-J30

補充の度に取り外す必要アリ

タンクは本体の外についているので、取り外し自体は手軽に可能だ。ただタンクのキャップをその都度開閉する必要があるのが若干面倒。

中にタンクor本体を返して補充タイプ



Panasonic  
FE-KXS07  
実勢価格▶2万2260円  
水の補充しやすさ C  
代表製品  
CORONA UF-H5019R など9製品  
メジャーなタイプだけど……  
一番見かけるタイプだが毎日のようにフタを外し、タンクを出して給水と繰り返すのはやはり手間。

楽

水の補充しやすさ

難

バルミューダ  
Rain ERN-1100UA-WK  
実勢価格▶5万600円

SPEC サイズ:直径35×H37.4cm  
重量:5.7kg タンク容量:4.2リットル

タンクを出す手間も  
フタを外す手間もない!

補充の際に一番楽なのは上から入れるタイプ。中でもバルミューダは快適で、同じ上から入れるタイプでも補給口が小さいSHARPなどと違って口が大きく、まさしく「かける」という表現がぴったり。満水時は水量センサーが感知して、自動で知らせてくれるのも便利!

代表製品  
KOIZUMI KHM-5592  
SHARP HV-J75

何もせずに注ぐだけで 補給完了!

気化式

水の補充しやすさ

S

温度・風量は  
リングで操作

検証でわかった 水の補給など使い勝手の違い!

水の補給

ダントツで上から注ぐタイプの製品が手間いらず。ほぼ毎日行う必要があるからこそ、手軽さを追求すべき。タンク内蔵タイプは取り外しも、持ち運びも大変。手も濡れやすい

タイマー設定

1時間刻みでセットできるバルミューダの便利さが際立つ。ついで6段階のダイソンが細かい。8畳以上用はほぼ全てタイマー搭載だが、小型機種は設定できないもの多め

手入れ

基本的に手入れはどれも大変なのだが、広口の製品は手が入りやすいので、煩わしさは感じずに済む。タンク内蔵式は構造が複雑で、細かい場所に溜まった汚れを落とすににくい

検証方法

とにかく使いまくって気になった点を探しました!



いくら性能が良くても使い勝手がビミョーだったら、毎日使う気は起きないだろう。そこで全製品を使い、毎日行うであろう水の補充を中心に、タイマー設定の細かさ、手入れのしやすさなど「いかに楽に使えるか」を検証した。

# 惜しいことに 加湿性能はあと一歩だけど スリーアップがほぼ無音

Part 5 静音性

小型機種ほど静音性に優れる結果に

## 評価 S ほぼ無音! 睡眠時でも問題なし

アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円

山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円

スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5585円

Tao Tronics TT-AH025 実勢価格▶5999円

39.4 dB(A)

39.2 dB(A)

38.8 dB(A)

39.1 dB(A)

少しも気にせずにグッスリZZ

ほぼ無音で使えるのがこれら4製品。ただ加熱式はお湯が沸くコポコポ音が気になるかもしれない

## 評価 A 多少の音はするが邪魔には感じない

アイリスオーヤマ KUHM-280B 実勢価格▶4980円

三菱重工 roomistSHE60SD 実勢価格▶171752円

東芝 KA-X60 実勢価格▶17464円

maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円

APIX AHD-160 実勢価格▶8720円

ダイニチ HD-3019 実勢価格▶173480円

SHARP HV-J30 実勢価格▶1773円

象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶176800円

KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶17540円

Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶173720円

40.1 dB(A)

40.4 dB(A)

40.4 dB(A)

40.5 dB(A)

40.5 dB(A)

40.6 dB(A)

42.3 dB(A)

42.4 dB(A)

42.5 dB(A)

44.2 dB(A)

これくらいの音だったら全然平気

噴出音があるかもしれないが、頭の高さには届かない。うるささは特に感じないまま、眠りに落ちることができるはずだ

## 評価 B 人によっては音が気になる場合が

Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円

cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円

バルムューダ Rain ERN-1100UA-WK 実勢価格▶5万600円

SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円

ダイニチ Pure Humidify+Cool 実勢価格▶8万8000円

47.2 dB(A)

48.5 dB(A)

54.3 dB(A)

48.8 dB(A)

46 dB(A)

48.6 dB(A)

ちょっとうるさいかも

サイズ大きめの製品が多め。また気化式の場合だと、空気が流れる「シュー」というような音が

就寝時にあるとうれしい静音性については、加湿性能があと一歩及ばずだったスリーアップがトップの座に。ただ加湿性のトップであった東芝も十分に静かなので、寝室でも問題なく使えるはず。また今回の検証では全製品、最大モードで使用したのが、SHARPのHV-J75のように睡眠時向けの静音モードを搭載している場合もあるので、あくまで参考程度と考えよう。

検証でわかった 加湿方式別 静音性の違い

- 加熱式: 大きくはないが、水を沸かす際の沸騰音がする
- 気化式: 空気を送る際の風切り音のような音が気になることも
- 超音波式: 大型機種だと噴出音がするが、基本的に静音性は高い
- ハイブリッド式: 加熱気化式の場合、やはり空気を送る音が聞こえる場合がある

検証方法 最大モード時の騒音は?

暗騒音38.4dB(A)の部屋で、製品から1メートルの位置に騒音計を設置。その後各製品をそれぞれの最大モードで稼働させ、その際の騒音を計測した。

どうせなら静かに使いたい!

※ダイニチ Pure Humidify + Coolについては扇風機として使用した際の騒音値となっており、加湿モードのみを使用した際は数値がさらに小さくなります

# 8時間使っても 5畳→0.8円、8畳→3円の パナソニックがベスト!

Part 6 電気代の安さ

## 加熱式は電気代高め!

| 評価 | ブランド/製品名/価格                           | 対応畳数 | 電気代(1時間) |
|----|---------------------------------------|------|----------|
| S  | Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円       | 5畳以下 | 0.1円     |
| S  | SHARP HV-J30 実勢価格▶1万731円              | 5畳以下 | 0.12円    |
| S  | Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円       | 8畳以上 | 0.41円    |
| A  | バルムューダ Rain ERN-1100UA-WK 実勢価格▶5万600円 | 8畳以上 | 0.52円    |
| A  | アイリスオーヤマ KUHM-280B 実勢価格▶4980円         | 5畳以下 | 0.64円    |
| A  | スリーアップ HF-T1952WH 実勢価格▶5585円          | 5畳以下 | 0.68円    |
| A  | Tao Tronics TT-AH025 実勢価格▶5999円       | 8畳以上 | 0.71円    |
| B  | ダイニチ Pure Humidify+Cool 実勢価格▶8万8000円  | 8畳以上 | 1.01円    |
| B  | cado STEM630i 実勢価格▶4万9800円            | 8畳以上 | 1.13円    |
| B  | APIX AHD-160 実勢価格▶8720円               | 5畳以下 | 2.98円    |
| B  | ダイニチ HD-3019 実勢価格▶1万3480円             | 5畳以下 | 2.99円    |
| B  | 山善 KS1-A084 実勢価格▶2980円                | 5畳以下 | 5.13円    |
| B  | CORONA UF-H5019R 実勢価格▶1万1078円         | 8畳以上 | 5.66円    |
| B  | maxzen KSH-MX601 実勢価格▶7980円           | 8畳以上 | 5.99円    |
| B  | アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円        | 5畳以下 | 6.23円    |
| B  | SHARP HV-J75 実勢価格▶1万7318円             | 8畳以上 | 8.28円    |
| B  | KOIZUMI KHM-5592 実勢価格▶1万540円          | 8畳以上 | 8.32円    |
| C  | 象印マホービン EE-DA50 実勢価格▶1万6800円          | 8畳以上 | 12.65円   |
| C  | 三菱重工 roomist SHE60SD 実勢価格▶1万1752円     | 8畳以上 | 13.17円   |
| C  | 東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円                 | 8畳以上 | 15.95円   |

Panasonic FE-KXS07 実勢価格▶2万2260円

SPEC サイズ:W37.5×D18.6×H37.5cm 重量:5.2kg タンク容量:4.2リットル

1日使っても10円以下!

加湿性能検証で優秀な成績を残した本製品は、電気代も安め。ノドだけではなく懐にもやさしく加湿器だ!

大型機なのに小型機並みの電気代!

最下位との1時間あたりの電気代の差 約15円

加熱式

東芝 KA-X60 実勢価格▶1万464円

電気代の安さ 8畳以上 S

Panasonic FE-KFS03 実勢価格▶1万3720円

SPEC サイズ:W29.5×D30.5×H19cm 重量:3.1kg タンク容量:2.1リットル

1日使っても電気代は3円以下

小型機でもパナが経済的

8畳以上編と同じく、こちらもPanasonicが最安という結果になった。加湿性能も高いので、言うことなしだ。

最下位との1時間あたりの電気代の差 約6円

気化式

電気代の安さ 5畳以下 S

加熱式はやはり電気代高め

アイリスオーヤマ KSHM-260RA 実勢価格▶3980円

安く使うなら気化式 加熱式は全体的に高め

性能と同じく、やはり使うには気になるのが電気代。ということでも全製品の料金を測定した結果、方式により大きな違いが、やはり熱を使う加熱式は高く、一方の気化式は大型機種でも安いことがわかった。

8畳以上、および5畳以下のどちらでもベストとなったのはPanasonic。気化式特有のこまめなフィルター掃除が必要だが、加湿性能は高いので使ってみる価値は十分アリだろう。

検証でわかった 加熱方式別 電気代の違い

- 加熱式: 水を沸かす必要があるのでどの製品も高めだった
- 気化式: 風を送るだけなので大型機種でも安いものが多い
- 超音波式: 気化式と同じく振動でミストを発生させるため控えめ
- ハイブリッド式: 加熱の必要があるため、加熱式に次いで高めの製品が多い

検証方法 ワットモニターで電気代を測定!

全製品を消費電力量や電気代を自動で測定してくれる「ワットモニター」についで使用。1時間稼働させたのちに表示された電気代を記録し比較した。

一番経済的に使えるのは?

結論

つけた最強の1台は

検証の結果決ま

ムラなく清潔に部屋をうるおせる!

8畳以上向け製品なら

東芝

5畳以下向け製品なら

シャープで決まり!

最強 8畳以上用 加湿器ランキング

最強 5畳以下用 加湿器ランキング

| 順位  | ブランド/製品名/価格   | 清潔さ | 加湿性能 | 使い勝手 | 電気代の安さ | 静音性 | 総評   |
|-----|---|-----|------|------|--------|-----|--|
| 1位  | 東芝 KA-X60<br>実勢価格▶1万464円<br>タンク容量:約4リットル                  | S   | S    | B    | C      | A   | 加熱式なので菌が発生しづらく、ムラのなさも◎。電気代はかかるが、それがかすむ性能   |
| 2位  | 三菱重工 roomist SHE60SD<br>実勢価格▶1万1752円<br>タンク容量:4リットル       | S   | A    | B    | C      | A   | 東芝と同じ傾向。少し加湿ムラがあるが、それでも気になるようなレベルではない      |
| 3位  | バルミューダ Rain ERN-1100UA-WK<br>実勢価格▶5万600円<br>タンク容量:4.2リットル | A   | B    | S    | A      | B   | 群を抜いて水の補充が楽で、独特の操作も快適。加湿性能も均一で安定していた       |
| 4位  | SHARP HV-J75<br>実勢価格▶1万7318円<br>タンク容量:4リットル               | A   | A+   | A    | B      | B   | 加湿性能はバツグン。補充も上から注ぐだけで楽。全体的なバランスがとれた一台だ     |
| 5位  | 象印マホービン EE-DA50<br>実勢価格▶1万6800円<br>タンク容量:4リットル            | S   | B    | A    | C      | A   | 煮沸に時間がかかるが、加湿力は高い。構造がシンプルで手入れしやすいのもいい      |
| 6位  | Panasonic FE-KXS07<br>実勢価格▶2万2260円<br>タンク容量:4.2リットル       | A   | A    | B    | A      | B   | 加湿力を含め、高いレベルでまとまった1台。タンクが内蔵式だったのが惜しいところ    |
| 7位  | cado STEM630i<br>実勢価格▶4万9800円<br>タンク容量:2.3リットル            | C   | A+   | B    | B      | B   | 場所ムラはあるが加湿力、ミストの勢いは圧巻。超音波式なので、小さな手入れは必須    |
| 8位  | ダイソン Pure Humidity+Cool<br>実勢価格▶8万8000円<br>タンク容量:5リットル    | A   | B    | A    | B      | B   | 加湿ムラ少なめ。リモコン操作可能で、使い勝手は◎。加湿以外も1台ですませるならアリ! |
| 9位  | KOIZUMI KHM-5592<br>実勢価格▶1万540円<br>タンク容量:6.5リットル          | B   | B    | A    | B      | A   | 上位陣と比べ多少見劣りするが、普段使いには十分な性能。価格が抑えめなのもうれしい   |
| 10位 | CORONA UF-H5019R<br>実勢価格▶1万1078円<br>タンク容量:4リットル           | B   | B    | B    | B      | B   | KOIZUMIと同じような結果に。使い勝手などで、もう一工夫あるとなお良かった    |
| 11位 | TaoTronics TT-AH025<br>実勢価格▶5999円<br>タンク容量:6リットル          | C   | B    | B    | A      | S   | 静音性が特に優秀。給水は本体のその都度ひっくり返す必要があり、手間がかかった     |
| 12位 | maxzen KSH-MX601<br>実勢価格▶7980円<br>タンク容量:6リットル             | C   | B    | A    | B      | A   | 上部給水にリモコン操作と使い勝手は良い。値段優先なら悪くない選択肢かも        |

| 順位 | ブランド/製品名/価格   | 清潔さ | 加湿性能 | 使い勝手 | 電気代の安さ | 静音性 | 総評  |
|----|---|-----|------|------|--------|-----|---|
| 1位 | SHARP HV-J30<br>実勢価格▶1万73円<br>タンク容量:2.4リットル         | A   | S    | A    | A      | B   | 電気代安めで、加湿力はバツグン。稼働音はほぼ敏感でない限り、気にならない。オススメの一台だ!  |
| 2位 | Panasonic FE-KFS03<br>実勢価格▶1万3720円<br>タンク容量:2.1リットル | A   | S    | B    | S      | B   | シャープと並び高性能。給水の際、タンクの取り出しに少し手間がかかるので、差があった       |
| 3位 | アイリスオーヤマ KSHM-260RA<br>実勢価格▶3980円<br>タンク容量:2.4リットル  | S   | A    | B    | B      | A   | タイマーなどが無いシンプルな作りだが、加熱式で清潔な点と、ムラのなさが評価できるポイントだ   |
| 4位 | ダイニチ HD-3019<br>実勢価格▶1万3480円<br>タンク容量:2.4リットル       | B   | A    | B    | B      | A   | 加湿ムラのなさは上位陣並み。静音性も高いので、快適に使用できる一台だ。タンク給水の少し手間   |
| 5位 | 山善 KS1-A084<br>実勢価格▶2980円<br>タンク容量:0.8リットル          | S   | B    | B    | B      | A   | 小型だが加湿はしっかりできた。水の減りが早いので、ちょっとした休憩や仮眠の際に使うなら全然あり |
| 6位 | アイリスオーヤマ KUHM-260B<br>実勢価格▶4980円<br>タンク容量:3リットル     | C   | B    | B    | A      | A   | 給水が少々面倒だが、加湿性能はそこそこで、静音性◎。超音波式なので、小さな手入れが必要     |
| 7位 | APIX AHD-160<br>実勢価格▶8720円<br>タンク容量:3.5リットル         | C   | B    | A    | B      | A   | 加湿ムラ大きめ。またフタの隙間からミストが漏れるのも気になる。給水が楽なのはうれしいところ   |
| 8位 | スリーアップ HF-T1952WH<br>実勢価格▶5910円<br>タンク容量:2リットル      | C   | C    | A    | A      | A   | ミストの勢いの割に加湿力に欠けた。電気代は安く、給水はフタを開け注ぐだけで使い勝手は悪くない  |

※清潔性の項目は p128-129 の結果を元に加熱式→S、気化式→A、超音波式→C、ハイブリッド(加熱気化)→A~B(臭いがあった場合はB)、ハイブリッド(加熱超音波)→Cで評価しております

※清潔性の項目は p120-121 の結果を元に加熱式→S、気化式→A、超音波式→C、ハイブリッド(加熱気化)→A~B(臭いがあった場合はB)、ハイブリッド(加熱超音波)→Cで評価しております

睡眠中の乾きはSHARPで解決!

検証ののち清潔性・加湿性能・使い勝手を評価のメインに全製品をランキングしたところ... 5畳以下対応の製品ではSHARPがベストバイに決定! なんといっても魅力的なのはムラのなさ、稼働時間の長さ。一度布団に入ったら朝まで出たくなくなる、この時期にはもってこいの性能。電気代が安いので長時間使っても、懐に優しいのも◎。2位のPanasonicも優秀。タンク内蔵式で水の補充が少々手間がかかるが、電気代はSHARPより安めで十分にオススメできる。

東芝 KA-X60 加熱式  
実勢価格▶1万464円



部屋の乾きを逃さずうるおせる  
菌が発生しづらく清潔に使える加熱式である上、加湿ムラのなさが際立っていた。部屋のどこにいても、乾燥に悩まされることはなくなるはず!



KA-X60のココがスゴイ!

- 加熱式だから清潔度が高い**  
この製品は今回の検証で菌が発生しづらいと判明した「加熱式」。他製品と比べ、菌への心配が少なくすむ
- ファン内蔵だから蒸気が均一に広がる**  
ファンで効率的に蒸気を広げるため、加湿の際のムラのなさが驚異的。置き場所が悩む必要なし!
- 加熱式の中では加湿が始まるのが早い**  
加湿開始が他の加熱式の製品と比べかなり早かった。同方式の弱点を克服していると言って良いだろう

7分で加湿! スイッチを入れて

乾ききつた部屋は東芝でムラなくうるおせる

8畳以上対応の製品では東芝がベストバイに。菌の発生を抑えられる加熱式に驚異的な加湿ムラのなさを備えた、乾燥対策にはこれ以上ないほどの一台だ。電気代は多少かかるが、それ以上の魅力と性能アリ!

また使い勝手はバルミューダ、全体的なバランスの良さではSHARPなども優秀で、求める機能次第では使って損なし。毎年のように乾燥に悩む人は今からでも遅くない。冬の部屋こもりの快適度アップのため、ぜひ日常に取り入れよう!



SHARP HV-J30 気化式  
実勢価格▶1万73円

寝ている間もしっかりうるおう!

冬の夜の乾きはこれで解決!  
加湿力と稼働時間の長さが◎。気化式なのでフィルターの掃除をまめに、きれいな状態を保つとなお良し!



HV-J30のココがスゴイ!

- 気化式だけどもうらなくしっかりうるおう**  
加湿性能では優れたムラのなさを発揮。寝室のどこにおいても、部屋中をしっかりとうるおすことができるはずだ
- 一晩中使用しても水が切れる心配なし**  
最大モードで使用しても8時間近く稼働可能。寝ている間に水が切れて、結局翌朝ノドが痛いなんて経験をせずにすむ
- ミストが見えないから就寝の邪魔にならない**  
寝ている時につけたけど、白いもやが出るようになる……。しかし本製品はミストが見えないので、そんな心配なし!

水の補充は外付けタンクに